

# 競技注意事項

2018 国体選考・強化普及競技会

1 本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項によって行う。

## 2 ナンバーカードについて

- (1) 本年度愛知陸協登録ナンバーカード（ビブス）を胸部・背部に確実につける。走高跳・棒高跳は、胸または背につけるだけでよい。走幅跳、三段跳は、胸につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバーカードを配付する。  
ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードはフィニッシュ後、係（フィニッシュライン前方スタンド側）に返却する。

## 3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップ場は、瑞穂北陸上競技場及びレクリエーション広場を使用する。  
使用時間は8時00分から最終種目招集開始時刻まで。なお、北陸上競技場も一部競技を実施するので**競技時間帯は競技役員の指示に従って**、競技運営に支障をきたさないよう注意する。

※北陸上競技場のレーン使用区分は原則として次のとおり。

1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル  
フィールド芝生部分は芝生養生期間であるのでハンマー投の競技以外では使用できない。

- (2) 投てき種目は練習できないので、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3) 本競技場2階雨天走路の使用は、競技役員の指示に従う（事故防止・安全確保の措置）。
- (4) 本競技場のトラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、**競技開始30分前**まで使用できる。

## 4 招集について

- (1) 招集所は正面スタンド下、100mスタート付近**競技者ホール**に設ける。

北陸上競技場で実施の種目については、北陸上競技場正面玄関付近に設ける。

- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	原則として	40分前	20分前
	100m・200m・1500mと男子400m・男子800m・男子5000mは組によって招集時刻が異なるので、タイムテーブルをよく確認して招集を行ってください。		
跳躍競技	走高跳・走幅跳・三段跳	50分前	30分前
	棒高跳	90分前	70分前
投てき競技	砲丸投・ハンマー投	50分前	30分前
	円盤投・やり投	60分前	40分前

- (4) リレーのオーダー用紙の提出は、**招集完了時刻の60分前**とする。

## 5 競技場への入退場について

- (1) 入場は、係員の指示により行う。
- (2) 退場は、下記による。
  - ・トラック競技 → フィニッシュ右手の退場口から2階の雨天走路を経て退場する。
  - ・フィールド競技 → 競技役員の指示による。

## 6 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 欠場者のレーンは、100m～400mではあける。800mについては出発係の指示による。

## 7 トラック競技について

- (1) タイムレース決勝とする。タイムにより順位をつける。
- (2) 400mまでのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も他の競技者の安全のために、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を減速し止まる。
- (3) 14日（土）男女200m、男5000mは北陸上競技場で実施する。  
15日（日）男女100m、男1500m、女5000mは北陸上競技場で実施する。
- (4) 競技運営上以下の種目は競技打ち切り時間を設ける。男子5000mは20分、女子5000mは28分、女子3000mは15分。男子5000mWは30分、女子5000mWは40分。
- (5) 4×100mリレーのテイクオーバーゾーンは30mになりました。

## 8 フィールド競技について

- (1) 距離を競う種目については3回の試技とし、トップ8は行わない。
- (2) 男子高校砲丸投、女子円盤投、男女やり投は、出場者多数のため申請記録により2グループに分ける。
- (3) 走幅跳は男子6グループ、女子5グループに分け、男子1・2組、女子1組は北陸上競技場で実施する。
- (4) 三段跳は男子A：11m・B：10mの踏切板を使用する。女子は9mの踏切板を使用する。
- (5) バーの上げ方は下記のとおりとする。（審判長の判断により変更することがある）

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳A	1m75	1m90	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01	以後3cm
男子走高跳B	1m55	1m70	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	以後3cm
女子走高跳A	1m40	1m55	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	以後3cm
女子走高跳B	1m25	1m40	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	以後3cm
男子棒高跳A	3m80	4m20	3m80	4m00	4m20	4m40	4m60	4m70	以後10cm
男子棒高跳B	3m00	3m40	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	3m90	以後10cm
女子棒高跳	2m00	2m40	2m00	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	以後10cm

（練習はA・Bいずれか希望する高さで行う。）

- (6) ハンマー投（男、女、高校ともに）は北陸上競技場で実施する。
- (7) 跳躍・投てき競技の助走に使用するマーカーは、主催者が用意する。マーカーは、砲丸投・円盤投・ハンマー投は1個、その他の競技は2個まで使用できる。
- (8) 各種目とも出場競技者が多いので、早めに招集をすませて練習時間を確保する。
- (9) 試技の制限時間が、棒高跳を除いて、4人以上の場合**30秒**になりました。

## 9 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。  
ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。やりについては、競技場にもしくは1つしかないもの場合は持ち込みを認めるので、希望者は招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に、南器具庫（フィニッシュ付近）で検査を受ける。
- (2) 投てき用具の重さ(注意)  
男子高校：砲丸 6.000kg    男子少年B・中学：砲丸 5.000kg    女子中学：2.721kg

## 10 競技用靴について(競技規則)

スパイクピンの長さは9mm以内とする。但し、走高跳・やり投は12mm以内とし、スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

## 11 瑞穂陸上競技場の使用について

- (1) 開門時刻は、午前8時00分である。それ以前には立ち入らない。
- (2) 応援幕等は、バックスタンドの最上部以外には張ってはならない。
- (3) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内では行わない。
- (4) 清掃・ゴミ処理は、各学校・各団体で責任をもって行き、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ収集」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われており、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

- (5) 本大会は、清掃当番を 14日（土）豊明高校と愛工大名電高校、  
15日（日）愛知高校と名古屋高校をお願いします。

競技終了後、ただちに本部室前に集合してください。

## 12 その他

- (1) ナンバー・氏名・所属等の間違い、訂正があれば、団体受付後に本部に申し出る。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。
- (3) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室（フィニッシュ付近スタンド下）において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は本人負担とする。
- (5) 本大会は、愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。ケガの治療だけでなく、相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。テーピング用のテープは利用者で負担（持参）してください。
- (6) 競技中にカメラ・ビデオの映像を競技に支障がないようにスタンドから見せることができる。ただし、**競技場内に持ち込むことはできない**。もし**競技に支障をきたした場合は直ちに禁止とする**。
- (7) **個人情報の扱いについて**  
愛知陸協は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱います。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します
- (8) **カメラ・ビデオ等の撮影は、出場の団体・学校と選手の家族を除き必ず本部で許可を受けること。**

### 観客からの撮影制限について

- ① **観客席での撮影禁止**をさせていただくエリアは下記の席です。
  - ・各種目のスタート後方
  - ・走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
  - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ② 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ③ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなど準備の行動の撮影は禁止します。
- ④ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。